平成26年度 財政状況資料集

終括表(市町村)

:	都道府県名	7 =									区分	平成26年度(千円)	平成25年度(千円)	区分			平成25年度(千円・%
	都道府県名 千葉県		市町	市町村類型		- 1	指定団体等	の指定状況	歳入総額		17, 787, 348	15, 790, 995	実質収支比率		4. 7	6.	
								財政健全化等	×	歳出総額		17, 294, 721	15, 091, 793	経常収支比率		90. 1	87. 3
								財源超過	×	歳入歳出	差引	492, 627	699, 202	(※1)		(97.5)	(94. 5
	市町村名	鴨丿	川市	地方交	を付税種地	1-	-1	首都	×	翌年度に	繰越すべき財源	33, 691	31, 983	標準財政規模		9, 793, 676	9, 751, 655
								近畿	×	実質収支		458, 936	667, 219	財政力指数		0. 53	0. 53
		22年国調(人)	35, 766					中部	×	単年度収	支	-208, 283	-225, 911	公債費負担比率		15. 7	15. 5
	人口	17年国調(人)	36, 475		産	業構造 (※5)		過疎	0	積立金		1, 294	298, 550	健全化判断比率			
		增減率 (%)	-1. 9			,		山振	×	繰上償還		-	-	実質赤字比率		-	
		27.01.01(人)	34, 881	[区分	22年国調	17年国調	低開発	×	積立金取		622, 987	-	連結実質赤字比率		-	
		うち日本人(人		笋	第1次	1, 869	2, 628	指数表選定	0	実質単年	度収支	-829, 976	72, 639	実質公債費比率		10. 8	11. 6
住民	民基本台帳人口	26.01.01(人)	35, 312			10. 9	14. 0			** ** ** ** **				将来負担比率		113. 8	104. 4
		うち日本人(人		穿	第2次	2, 428	2, 971			基準財政収入額		3, 872, 763	3, 832, 254	資金不足比率 (※4)			
		増減率 (%)	-1. 2 (6) -1. 3	1	14. 2		15. 8 13. 072			基準財政需要額 標準税収入額等		7, 349, 096 4, 998, 114	7, 266, 948 4, 945, 429	1			
	面積 (km²)	フゥロ本人(191.14	第	第3次	74. 9	69.6		-		入組寺 充当一般財源等	4, 998, 114 8, 927, 031	4, 945, 429 8, 608, 137				
	国領(KIII) I密度(人/km²)	+	191. 14			74. 9	09. 0			世界程度 歳入一般		12, 091, 895	11, 703, 522				
	密度 (人/KIII) 帯数 (世帯)	1	14, 361	-						成人—取	州冰寺	12, 091, 693	11, 703, 322				
	- m sx (E-m)		14, 001	職員	の状況					1							
			1人あたり平均	1,77	1		職員数	給料月額	1人あたり平均	1							
	区分	定数	給料月額(百円)	_		区分	(人)	(百円)	A料月額(百円)	地方債現	在高	20, 372, 376	18, 893, 055	1			
	市区町村長	1	8, 200	- 般 職	一般職員	į.	373	1, 199, 568	3, 216	うち公	的資金	11, 562, 225	10, 999, 044				
特	副市区町村長	1	6, 630	員	うちぇ	肖防職員	-	-		- 債務負担	行為額 (支出予定額)	2, 639, 940	3, 781, 998	1			
別 職	教育長	1	6, 090	等	うち£	技能労務職員	54	167, 724	3, 106	収益事業	収入	-	-				
	議会議長	1	3, 860	* 6	教育公雅	務員	34	105, 807	3, 112	土地開発	基金現在高	68, 703	68, 703				
	議会副議長	1	3, 530	Ů	臨時職員	Ą	-	-		-	財政調整基金	2, 442, 587	3, 064, 280	1			
	議会議員	18	3, 260		合計		407	1, 305, 375	3, 207	積立金 現在高	減債基金	400, 052	400, 001				
					ラスパイし	レス指数			100. 2		その他特定目的基金	2, 000, 470	1, 992, 482				
一般 st	会計等の一覧	会計名	事業項番	会計の-	一覧	会計名		公営企業 (法適 項番	の一覧 会計名		公営企業 (法非適) の- 項番	-覧 ὲ 計名	関係する一部事務 項番	組合等名	地方公社・第 項番	第三セクター等一覧 団体名	(※3)
(1)	一般会計		(2)	国民健	康保険特別	会計		(5) 水道事業会	II				(7) 安房郡市広均 計)	成市町村圏事務組合(一般会	(15) 鴨川市豚	用発公社	
			(3)	介護保	険特別会計	ŧ		(6) 病院事業会	Ħ				(8) 千葉県市町村	総合事務組合 (一般会計)	(16) 鴨川マリ	リン開発	
			(4)	後期高	齢者医療特	持別会計							(9) 千葉県市町村 館管理運営特	総合事務組合(千葉県自治会 別会計)			
													(10) 千葉県市町村 修センター特	総合事務組合(千葉県自治研 別会計)			
													(11) 千葉県市町村 交通災害共済	総合事務組合 (千葉県市町村 特別会計)			
													(12) 千葉県後期高	齢者医療広域連合(一般会			
														齢者医療広域連合(後期高齢 計)			
														道企業団(水道用水事業会			

(注釈)※1:経常収支比率の()内の数値は、「減収補塡債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。

7%!: 終帝収支氏年の(「)内の致価は、「減収価増減(特別ア/) 及び「端時別収対取填」と呼いて非血したのの。 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。 ※3: 地方公共団体が損失権填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に〇印を付与している。 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(一)としている)。

千葉県鴨川市

(1) 普通会計の状況(市町村)

	の状況 (単位 千円	• %)			地方税の料			
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	4, 368, 312	24. 6	4, 368, 312		普通税	4, 285, 318	98. 1	-
地方譲与税	142, 157	0.8	142, 157	1.6	法定普通税	4, 285, 318	98. 1	-
利子割交付金	7, 151	0.0	7, 151	0. 1	市町村民税	1, 853, 536	42. 4	-
配当割交付金	31, 492	0. 2	31, 492	0.3	個人均等割	66, 912	1.5	-
株式等譲渡所得割交付金	22, 089	0. 1	22, 089	0. 2	所得割	1, 500, 092	34. 3	-
地方消費税交付金	437, 321	2. 5	437, 321	4. 8	法人均等割	124, 884	2. 9	-
ゴルフ場利用税交付金	15, 296	0. 1	15, 296	0. 2	法人税割	161, 648	3. 7	-
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	2, 061, 900	47. 2	-
自動車取得税交付金	28, 107	0. 2	28, 107	0. 3	うち純固定資産税	2, 049, 554	46. 9	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	80, 895	1.9	-
地方特例交付金	7, 822	0.0	7, 822	0.1	市町村たばこ税	288, 707	6.6	-
地方交付税	4, 810, 047	27. 0	4, 048, 924	44. 2	鉱産税	-	-	-
普通交付税	4, 048, 924	22. 8	4, 048, 924	44. 2	特別土地保有税	280	0.0	-
特別交付税	761, 115	4. 3	-	-	法定外普通税	-	-	-
震災復興特別交付税	8	0.0	-	-	目的税	82, 994	1.9	-
(一般財源計)	9, 869, 794	55. 5	9, 108, 671	99. 5	法定目的税	82, 994	1.9	-
交通安全対策特別交付金	5, 063	0.0	5, 063	0.1	入湯税	82, 994	1.9	-
分担金・負担金	15, 644	0.1	-	-	事業所税	-	-	-
使用料	187, 148	1.1	11, 664	0. 1	都市計画税	-	-	-
手数料	270, 508	1.5	19, 340	0. 2	水利地益税等	-	-	-
国庫支出金	1, 606, 352	9.0	-	-	法定外目的税	-	-	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-
都道府県支出金	806, 459	4. 5	-	-	合計	4, 368, 312	100.0	-
財産収入	24, 971	0. 1	12, 751	0.1				
寄附金	35, 357	0. 2	-	_	区分	平成26年度		平成25年度
繰入金	680, 361	3.8	-	-	徴収率 現 吉野井屋報	98. 4	93. 2	98. 3 92. 9
繰越金	699, 202	3. 9	-	-	徴収率 現・計 市町村民税 (%) 年・計 体界内容を発	98. 0	91.9	97. 8 91. 5
諸収入	417, 851	2. 3	770	0.0	(%) 年 純固定資産税	98. 5	93.6	98. 5 93. 5
地方債	3, 168, 638	17. 8	-	_	•	•		
うち減収補塡債(特例分)	_	_	-	-	公営事業等への繰出	国民健康	東保険事業	(会計の状況
うち臨時財政対策債	746, 638	4. 2	-	-	合計 1,477,570	実質収支		111, 107
歳入合計	17, 787, 348	100.0	9, 158, 259	100.0	上水道 50,904	再差引収支		67, 423
	*				病院 15,184	加入世帯数(世帯)		6, 523
					工業用水道 -	被保険者数(人)		10, 824
					交通 -	地位岭水 广保険	税(料)収	
					国民健康保険 257,918	被保険者 医障	支出金	90
					その他 1,153,564		給付費	282
(注釈)					L			

(注卷	K)		
	th.	'3	

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

議出の状況(単位 千円・%)	当一般財源等 208, 392 2, 497, 215 2, 725, 558 938, 027 1, 673 361, 063 297, 524 501, 782 669, 359 1, 486, 106
接会費	208, 392 2, 497, 215 2, 725, 558 938, 027 1, 673 361, 063 297, 524 501, 782 669, 359
議会費	208, 392 2, 497, 215 2, 725, 558 938, 027 1, 673 361, 063 297, 524 501, 782 669, 359
総務費 4,009,752 23.2 2,066,736 民生費 4,653,939 26.9 33,656 衛生費 1,238,760 7.2 110,240 労働費 1.673 0.0 農林水産業費 413,304 2.7 180,141 商工費 411,015 2.4 86,212 土木費 803,689 4.6 568,310 消防費 733,582 4.2 75,902 教育費 2,762,900 16.0 1,428,265 災害復旧費 74,757 0.4	2, 497, 215 2, 725, 558 938, 027 1, 673 361, 063 297, 524 501, 782 669, 359
民生費 4,653,939 26.9 33.656 衛生費 1,238,760 7.2 110,240 労働費 1,673 0.0 - 農林水産業費 473,304 2.7 180,141 商工費 411,015 2.4 86,212 土木費 803,689 4.6 568,310 消防費 733,582 4.2 75,902 教育費 2,762,900 16.0 1,428,265 災害復旧費 74,757 0.4 - 公債費 1,922,958 11.1 -	2, 725, 558 938, 027 1, 673 361, 063 297, 524 501, 782 669, 359
衛生費	938, 027 1, 673 361, 063 297, 524 501, 782 669, 359
労働費 1,673 0.0 - 農林水産業費 473,304 2.7 180,141 商工費 411,015 2.4 86,212 土木費 803,689 4.6 568,310 消防費 733,582 4.2 75,902 教育費 2,762,900 16.0 1,428,265 災害復旧費 74,757 0.4 - 公債費 1,922,958 11.1 -	1, 673 361, 063 297, 524 501, 782 669, 359
農林水産業費 473,304 2.7 180,141 簡工費 411,015 2.4 86,212 土木費 803,689 4.6 568,310 消防費 733,582 4.2 75,902 教育費 2,762,900 16.0 1,428,265 災害復旧費 74,757 0.4 ———————————————————————————————————	361, 063 297, 524 501, 782 669, 359
商工費 411,015 2.4 86,212 土木費 803,689 4.6 568,310 消防費 733,582 4.2 75,902 教育費 2,762,900 16.0 1,428,265 災害復旧費 74,757 0.4 — 公債費 1,922,958 11.1	297, 524 501, 782 669, 359
土木費 803,689 4.6 568,310 消防費 733,582 4.2 75,902 教育費 2,762,900 16.0 1,428,265 災害復旧費 74,757 0.4 - 公債費 1,922,958 11.1 -	501, 782 669, 359
土木費 803,689 4.6 568,310 消防費 733,582 4.2 75,902 教育費 2,762,900 16.0 1,428,265 災害復旧費 74,757 0.4 - 公債費 1,922,958 11.1 -	669, 359
消防費 733,582 4.2 75,902 教育費 2,762,900 16.0 1,428,265 災害復旧費 74,757 0.4 - 公債費 1,922,958 11.1	669, 359
教育費 2,762,900 16.0 1,428,265 災害復旧費 74,757 0.4 - 公債費 1,922,958 11.1 -	
災害復旧費 74,757 0.4 - 公債費 1,922,958 11.1 -	
公債費 1,922,958 11.1 -	11, 125
	1, 901, 444
	1, 301, 444
前年度繰上充用金	_
	11 500 000
歳出合計 17,294,721 100.0 4,549,462	11, 599, 268
性質別歳出の状況 (単位 千円・%)	
	経常収支比率
義務的経費計 7,617,426 44.0 5,878,484 5,863,158	59. 2
人件費 3, 471, 133 20.1 3, 293, 638 3, 278, 473	33. 1
うち職員給 2,251,335 13.0 2,081,700 -	-
扶助費 2, 223, 361 12.9 683, 428 683, 267	6. 9
公債費 1,922,932 11.1 1,901,418 1,901,418	19. 2
五人信貸	19. 2
内 うち元金 1,822,832 11.1 1,901,416 1,801,416 1,670,971 1,670,971	16. 9
計	2. 3
	۷. ۵
一時借入金利子	20.0
その他の経費 5,053,076 29.2 3,944,913 3,063,873	30. 9
物件費 2, 227, 622 12.9 1, 592, 388 1, 003, 341	10. 1
維持補修費 98,636 0.6 81,338 73,071	0. 7
補助費等	8. 7
うち一部事務組合負担金 672,463 3.9 672,463 652,047	6. 6
繰出金 1,411,482 8.2 1,201,037 1,121,989	11. 3
積立金 39,863 0.2 2,678 -	-
投資・出資金・貸付金 136, 261 0.8 33, 971 -	-
前年度繰上充用金	
投資的経費計 4,624,219 26.7 1,775,871	
うち人件費 114,613 0.7 114,613	
普通建設事業費 4,549,462 26.3 1,764,746	
うた 妹 田 7/2 721 / 2 59 266	
内 3 706 417 22 0 1 701 600	
訳 グラ 年 独	
失業対策事業費	
歳出合計	

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等 からの 繰入金	地方債 現在高	備考	
1 一般会計	17,932	17,439	493	459	27	20,372		
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								実質赤雪
計 一般会計等(純計)				459				

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

ハ党企業会計第の財政状況(単位,五下四

公営企業会計等の財政状況(単位:百万F	円)								
会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足 比率	備考
1 国民健康保険特別会計	4,712	4,601	111	111	210	ı	-		
2 介護保険特別会計	3,969	3,935	34	33	610	-	-		
3 後期高齢者医療特別会計	391	389	3	3	110	-	-		
4 水道事業会計	1,375	1,274	101	723	17	4,118	91		法適用企業
5 病院事業会計	683	777	▲ 94	263	16	38	1		法適用企業
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
計 公営企業会計等				1,133					

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

実質公債費比率 ((A)-((B)+(D)))/((C)-(D))×100 (単年度)

(3ヵ年平均)

11.3

10.6

10.6

	一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1	安房郡市広域市町村圏事務組合(一般会計)	2,981	2,712	269	166	-	2,570	783	
2	千葉県市町村総合事務組合(一般会計)	27,388	26,658	730	730	3,640	-	-	
3	千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)	170	118	52	52	-	-	-	
4	千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治研修センター特別会計)	109	101	8	8	2	-	-	
5	千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通災害共済特別会計)	129	96	33	33	-	-	-	
6	千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	4,356	4,210	146	146	57	-	-	
7	千葉県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	511,440	496,039	15,401	15,401	5,746	-	-	
8	南房総広域水道企業団(水道用水事業会計)	4,113	3,635	478	478	-	4,449	18	
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
#†	一部事務組合等								

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名 経常損益 起資産又は 当該団体 からの からの からの 出資金 補助金

	25/1 ALL 3/1 C/7 4/1	性的原皿		出資金	補助金	貸付金	係る債務残高	係る債務残高		C. HIII
1	鴨川市開発公社	0		2				1,364		
3	鴨川マリン開発	0	37	15				-	-	
4										
5										
6										
7										
В										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
:3										
4										
25										
6										
:7										
:8										
10										
1										
2										
13										
14										
15										
16										
37										
38										
19										
0										
1										
12										
13										
15										
6										
7										
8										
9										
ю										
1										
2										
i3										
4										
5										
55 66 77 88 99 90 00										
7										
8										
0										
1										
2										
3										
4										
5										
6										
17										
9										
0										
1										
72										1

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、〇印を付与している。

公債費負担の状況					将来負担	の状況												
F-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	千円・%)											丹来負担比率	☑ (千円	*				
区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比		区			平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比		内訳	平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比
元利償還金	1,735,059	1,832,626	1,922,932	23.0	将来負担	額 一般会計等に係	系る地方債の現在高	듥	18,750,167	18,893,055	20,372,376	243.8	PFI ³	事業に係るもの	-	-	-	
減債基金積立不足算定額	-	-	-	-		債務負担行為	に基づく支出予定額	į	2,046,087	1,705,072	1,364,058	16.3	いわ	ゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	
進 満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-		公営企業債等	噪入見込額		145,423	112,555	92,096	1.1	国営	土地改良事業に係るもの	-	-	-	
元 公営企業債の元利償還金に対する繰入金	16,883	8,116	9,964	0.1		組合等負担等	見込額		863,680	834,886	800,623	9.6	債 森材	総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	
相合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	14,494	24,430	40,289	0.5		退職手当負担	見込額		5,749,088	5,601,396	5,252,443	62.9	負地方	公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	
還 債務負担行為に基づく支出額(公債費に準ずるもの)	382,362	376,472	370,175	4.4		設立法人等の	負債額等負担見込額	額	296,341	251,591	206,791	2.5	担依賴	土地の買い戻しに係るもの	-	-	-	
金 一時借入金の利子	-	-	-	-		連結実質赤字符	額		-	-	-	-	竹 社会	福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	
合計 (A)	2,148,798	2,241,644	2,343,360		1	組合等連結実質	質赤字額負担見込額	額	-	-	-	-	損失	補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	
内訳	平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比		合計		(E)	27,850,786	27,398,555	28,088,387		引き	受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	
PFI事業に係るもの	-	-	-	-	充当可能	充当可能基金			4,348,262	4,509,037	3,923,395	47.0	その	他上記に準ずるもの	2,046,087	1,705,072	1,364,058	16
いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-	財源等	充当可能特定的	裁入		138,677	113,108	104,498	1.3		水道事業会計	136,454	110,131	90,599	1
倩 国営土地改良事業·森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-		基準財政需要	領算入見込額		13,911,850	13,979,716	14,545,841	174.1		病院事業会計	8,969	2,424	1,497	0
務 地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-		合計		(F)	18,398,789	18,601,861	18,573,734		企業債等 繰入見込	r 于 安百				
負担 社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-		-	-	将来負担	比率((E)-(F))/	((C)-(D)) × 100		113.0	104.4	113.8		林八元丛	假				
担 行 損失補償・債務保証の履行に係るもの	-		-	-										その他の会計	-	-	-	
為引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-										地方道路公社に係る将来負担額	-	-	-	
その他上記に準ずるもの	382,362	376,472	370,175	4.4	l F	健全化判断比率	平成26年度	早期健全	化基準 財	政再生基準			公社・	土地開発公社に係る将来負担額	-	-	-	
利子補給に係るもの	-	-	-	-	実	質赤字比率	_		13.37	20.00			ニセクマ	その他第三セクター等に係る将来負担額	296,341	251,591	206,791	2
特定財源の額 (B	20,090	20,572	20,927		連	結実質赤字比率	_		18.37	30.00					1			
標準財政規模(C	9,545,072	9,751,655	9,793,676		実	質公債費比率	10.8		25.0	35.0								
算入公債費等の額 (D) 1,181,982	1,327,542	1,438,122		将	来負担比率	113.8		350.0									
(C)-(D	8,363,090	8,424,113	8,355,554		1 🖺													
(24 fm)			400		-1													

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成26年度

千葉県鴨川市



● 当該団体値 類似団体内平均値 類似団体内の 最大値及び最小値

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。 ※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

※「人件書・物件書等の状況」の決算額は、人件書、物件書及び維持補修費の合計である。ただし、人件書には事業費支弁人件書を含み、退職金は含まない。

財政力 財政力指数 [0.53] 1.20 1.00 0.80 0.60 0.53 0.40 0.41 0.43 0.42 0.41 0.20 0.18 0.00

類似団体内順位 全国平均 千葉県平均 27/172 0.49 0.71

財政力指数の分析欄

平成26年度決算における財政力指数は0.53となり、平成24年度までは減少傾向に あったが、その後2か年は同数値を維持する形となった。ただし、今後も市税収入の減少、 高齢者人口の増加等による社会保障経費の増を主な要因として、基準財政需要額が伸 びていくことが見込まれ、低下していくことが予測される。この状況に対応するため、市 町村合併以降、各種行政財政改革への取り組みなどにより財政基盤の強化に努めてき たところであるが、今後も引き続き市税の徴収強化や新たな歳入の確保に取り組み、財 政基盤の安定化に努めるものとする。



124.7

H26

干葉県平均 924

平成26年度決算における経常収支比率は90.1%となり、前年度決算数値と比べ2.8% の増となった。この要因として、人件費、公債費の増等が挙げられる。

本市の経常収支比率は、類似団体や全国平均、千葉県平均と比較すると若干低い数 値となっているものの、人件費が33.1%、公債費が19.2%と両比率が高い水準にあるこ とや、交付税が算定の特例により平成27年度以降減少していくため、今後も歳出全般に わたる経費の削減等に取り組み、経常経費の縮減を図る一方で、徴収強化などにより 市税等経常一般財源の確保に努めるものとする。



137/172

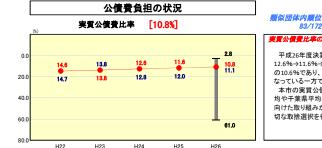
着似团体内槽位

全国平均 千葉県平均 55.6

将来負担比率の分析欄

平成26年度決算における将来負担比率は113.8%となり、前年度決算数値に比して 9.4%の増となった。この主な要因として、本庁舎の大規模耐震改修事業に伴う地方債 発行で、将来負担額が大幅に増となったことが挙げられる。

本市の将来負担比率は、類似団体平均や全国平均、千葉県平均のいずれと比しても 高い水準にあるが、これは過去に実施してきた施設整備等の事業財源に地方債を積極 的に活用してきたことや、債務負担行為に基づく太海多目的公益用地取得事業に係る 将来負担が主な要因となっているものである。今後も、行財政改革を進めるとともに、財 政調整基金等の適切な確保を図り、財政基盤の安定化を図っていく。



83/172

全国平均 実質公債費比率の分析機

平成26年度決算における実質公債費比率は10.8%となり、直近3か年の推移では、 12.6%→11.6%→10.8%と改善が図られている。単年度の数値では平成25年度と同様 の10.6%であり、変動がなかった主な要因として、基準財政需要額算入公債費が増と なっている一方で、元利償還金も増となっていることが挙げられる。

千葉県平均

8.84

本市の実質公債費比率は、類似団体平均より若干低い数値となっているが、全国平 均や千葉県平均との比較では約3%程度高い数値となっていることから、今後も改善に 向けた取り組みが必要である。このため、今後の大規模事業は5か年計画に則って適 切な取捨選択を行うなど、起債発行の抑制に努め、安定した財政運営に努めていく。

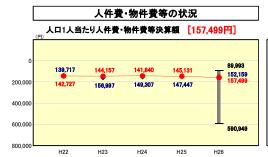


類似団体内順位 全国平均 千葉県平均 138/172 6.96

人口千人当たり職員数の分を

本市における人口干人当たりの職員数は11.67人であり、類似団体平均と比較すると高い数値 となっている。

この要因としては、地理的条件等により保育園、幼稚園が多く、清掃センター、衛生センター、 給食センター、総合運動施設など市の規模に比して直営施設が多くなっているためである。 このため、平成26年3月に定員適正化計画を策定し、小学校及び中学校の適正配置(統廃合の 推進)、幼稚園・保育園の一元化、給食センターの民営化、ごみ、し尿の収集業務への民間委託 導入等を積極的に図りつつ、技能労務職員については退職者の補充を行わないことなどにより、 職員削減を進め、適正な定員管理に努めていく。



130.0

140.0

H22

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析機

類似団体内順位

101/172

平成26年度決算における人件費、物件費及び維持補修費の合計額の人口1人当たり の金額は、類似団体の平均値より約5,000円高い数値となっており、全国平均や千葉県 平均と比較してもそれぞれ37,000円から47,000円程度高い数値となっている。

千葉県平均

109 993

全国平均

119 984

この主な要因は人件費によるものであり、具体的にはごみ焼却施設やし尿処理施設、 保育所、給食センターなどの施設運営を直営で行っているため、人口規模に比して職員 数が多いことが挙げられる。

今後は、施設の統廃合や業務の民間委託の拡大などで人件費のコスト縮減を図る取 り組みを行っていく必要がある。



160/172 ラスパイレス指数の分析機

本市における平成27年4月1日現在のラスパイレス指数は100.2であり、全国平均を上 回る水準となっている。この主な要因として、本市においては現給保障者の割合が、国 家公務員と比較すると少ないためである。

今後も引き続き、より一層の給与の適正化に努める。

全国市平均

98 7

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

5.8

10.1

12.7

19.7

H26

千葉県鴨川市

経常収支比率の分析



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

● 当該団体値 類似団体内平均値 類似団体内の 最大値及び最小値 11.0 15.0 18.0 21.0 24 0

H22

類似団体内順位 34/172 全国平均 14.3 千葉県平均 18.1

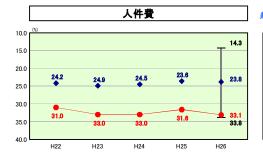
千葉県平均

千葉県平均

物件費の分析標

物件費の経常収支比率については、類似団体平均や全国平均、千葉県平 均を下回っている状況である。

しかし、5か年の推移を見ると、増加傾向にあるため、今後も歳出の抑制及 び削減に努めていく必要がある。



類似団体内順位 171/172

全国平均 23.8

人件書の分析機

人件費は、市の人口規模に比して、保育所や幼稚園の施設数が多いこと、 また、ごみ焼却施設、し尿処理施設、総合運動施設、給食センターなどを市 直営方式で運営していることから、職員数が多い状況となっているためであ

千葉県平均

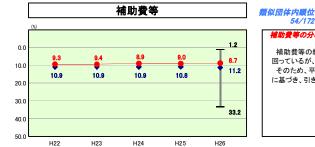
千葉県平均

千葉県平均

11.7

27.2

人件費を削減するためには、施設の統廃合の実施、ごみやし尿収集等に 係る業務への民間委託、民営化の推進が不可欠なものであるため、平成26 年度においては3地区の幼稚園、保育所計6施設を1つの幼保一体化施設に 統合したほか、ごみ収集の委託部分の拡大などを実施したところであり、今 後もこれらの取組みを進め、人件費の抑制に努める。



H24

H25

物件費

11.5

H23

54/172

補助費等の経常収支比率については、類似団体平均や全国平均をやや下 回っているが、千葉県平均よりは高い数値となっている。

そのため、平成21年6月に策定した補助金等の見直しに関するガイドライン に基づき、引き続き見直しを実施していく必要がある。

全国平均



扶助費の分析権

50/172

扶助費の経常収支比率については、類似団体平均や全国平均、千葉県平 均を下回っている状況であるものの、国全体の社会保障経費の増大に伴い、 障害者福祉や生活保護に係る扶助費等が年々増加しており、上昇傾向と

全国平均

今後も適正な給付に努める。

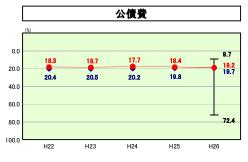


32/172 その他の分析機

その他の経常収支比率については、類似団体平均や全国平均を下回って おり、千葉県平均を多少上回っている状況である。

前年度と比較して0.2ポイント下回ってはいるが、今後も景気の動向に影響 されやすいことや高齢者の増加に伴う給付費等の増額が見込まれることか ら上昇していくと思われる。

全国平均

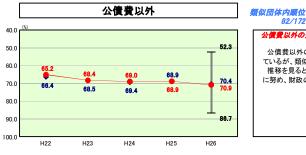


類似団体内順位 公信誉の分析権

本市の経常収支比率における公債費の比率は20%前後の高い水準で推 移している。この要因としては、大規模企業による法人税収入が見込めない など、自主財源に乏しい本市においては、過年度に実施してきた総合運動施 設や義務教育施設等の大規模事業の財源として地方債を積極的に活用して

全国平均

今後は、行財政改革大綱に基づく各種施策による徹底した歳出削減を図る 一方で、市税徴収の強化や未利用財産の処分等に取り組み、一般財源の捻 出に努めていかなければならない。



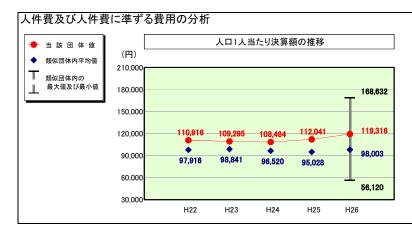
82/172 公債費以外の分析機

公債費以外の経常収支比率については、全国平均、千葉県平均を下回っ ているが、類似団体平均比較では上回っている状況である。

推移を見ると増加傾向となっているので、今後も歳出削減や市税の確保等 に努め、財政の健全化を図る。

全国平均

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)



人件費及び人件費に準ずる費用 当該団体決算額 人口1人当たり決算額 (千円) 当該団体(円) 類似団体平均(円) 対比(%) 3. 471, 133 99, 514 人件費 84, 248 賃金(物件費) 328 163 9 408 7 169 31 2 一部事務組合負担金 (補助費等) 487, 965 13, 989 9. 152 52. 9 公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等) 公営企業 (法適) 等に対する繰出し (検資及び出資金・貸付金) 893 公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金) 事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費) 178, 271 5, 111 3, 652 40.0 2, 134 **A** 9, 248 98, 003 3, 286 **1**1, 992 114, 613 54. 0 29. 7 21. 7 ▲退職金 合計 **4**18, 281 4, 161, 864 119, 316

_ 参考			
	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	11. 67	9. 39	2. 28
ラスパイレス指数	100. 2	97. 0	3. 2

公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)	当該団体決算額	I	人口1人当たり決算	安百
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1, 922, 932	55, 128	64, 926	▲ 15.1
責立不足額を考慮して算定した額	=	=	=	=
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	24	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	9, 964	286	18, 007	▲ 98.4
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	40, 289	1, 155	3, 275	▲ 64. 7
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	370, 175	10, 613	1, 233	760. 7
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	9	_
▲特定財源の額	▲ 20, 927	▲ 600	▲ 4, 280	▲ 86.0
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1, 438, 122	▲ 41, 229	▲ 56, 807	▲ 27.4
合計	884, 311			▲ 3.9
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に碁	基づく実質公債費比	率を算出していな	い団体については、	グラフを表記した

(参考) 普通建設事業費 (円) 160,000 120,000 100,000 80,000 60,000	の分析		人当たり決算	章額の推移	•
40,000 20,000 0	H22	H23	H24	H25	H26
	-	当該団体値	•	▶ 類似団体内	平均値

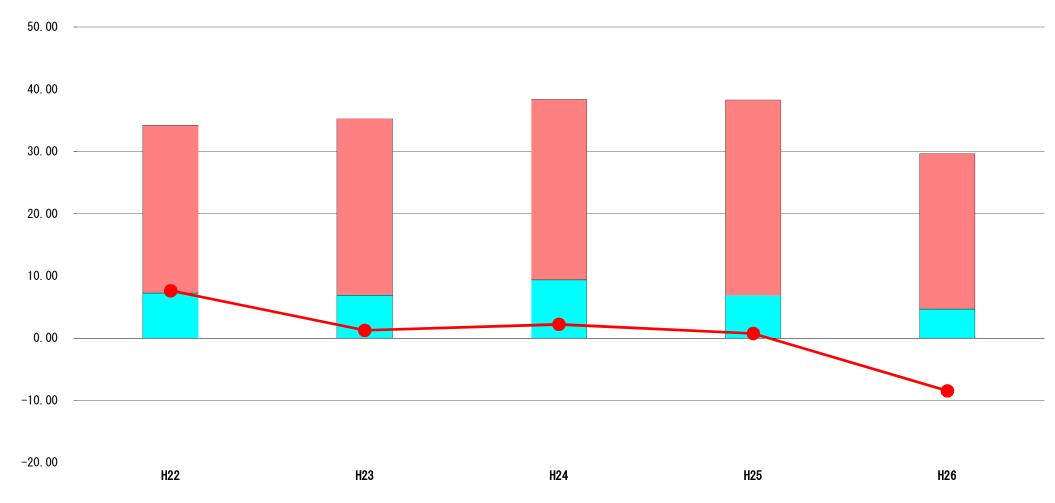
普通建設事業費										
		当該団体決算額	人口1人当たり決算額							
		(千円)	当該団体(円)	増減率(%)(A)	類似団体平均(円)	増減率(%)(B)	(A) – (B)			
H22		4, 687, 091	130, 698	41. 9	78, 670	3. 1	38. 8 35. 8			
	うち単独分	2, 799, 450	78, 062	28. 5	38, 094	▲ 7.3	35. 8			
H23		1, 880, 627	53, 022	▲ 59.4	67, 201	▲ 14.6	▲ 44.8			
	うち単独分	1, 710, 546	48, 227	▲ 38.2	35, 210	▲ 7.6	▲ 30.6			
H24		1, 806, 015	50, 902	▲ 4.0	75, 709	12. 7	▲ 16. 7			
	うち単独分	1, 608, 998	45, 349	▲ 6.0	35, 212	0. 0	▲ 6.0			
H25		2, 686, 751	76, 086	49. 5	90, 961	20. 1	29. 4			
	うち単独分	2, 049, 852	58, 050	28. 0	37, 720	7. 1	20. 9			
H26		4, 549, 462	130, 428	71. 4	106, 614	17. 2	54. 2			
	うち単独分	3, 796, 417	108, 839	87. 5	45, 545	20. 7	66. 8			
過去5年間平均		3, 121, 989	88, 227	19. 9	83, 831	7. 7	12. 2			
	うち単独分	2, 393, 053	67, 705	20. 0	38, 356	2. 6	17. 4			

(5) 実質収支比率等に係る経年分析(市町村)

平成26年度

千葉県鴨川市

標準財政規模比(%)



標準財政規模比(%)

区分	H22	H23	H24	H25	H26
財政調整基金残高	26. 96	28. 41	28. 98	31. 42	24. 94
実質収支額	7. 25	6. 88	9. 36	6. 84	4. 69
実質単年度収支	7. 61	1. 26	2. 21	0. 74	▲ 8.47

分析欄

本市の財政調整基金は、平成16年度の合併以来、平成25年度まで着実に 積み増してきたが、平成26年度は、庁舎の耐震改修工事や江見地区の小学 校、幼保一元化施設の整備等の大規模な事業を集中して実施したことに伴い、 大幅な取崩しとなった。

実質収支額については、年度によってばらつきはあるものの、ほぼ横ばいで 推移している。

単年度収支については合併以来黒字で推移してきたが、平成26年度は、前述のとおり大規模事業を実施したため大きく赤字に転じている。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析(市町村)

平成26年度

千葉県鴨川市

標準財政規模比((9	%)
----------	----	---	---

	Int I the Later Balance ()								
年度 会計	H22	H23	H24	H25	H26				
水道事業会計	11. 02	10. 09	8. 16	6. 67	7. 38				
一般会計	7. 24	6. 88	9. 35	6. 84	4. 68				
病院事業会計	2. 99	3. 51	3. 53	3. 33	2. 68				
国民健康保険特別会計	2. 59	2. 42	1. 39	1. 92	1. 13				
介護保険特別会計	0. 60	1.03	0. 66	0. 89	0. 33				
後期高齢者医療特別会計	0. 02	0. 03	0. 15	0. 03	0. 02				
その他会計 (赤字)	-	=	-	-	-				
その他会計(黒字)	0.00	_	-	_	_				

分析欄

平成26年度は各会計とも黒字となったため、連結赤字比率の構成 も全て黒字となっている。

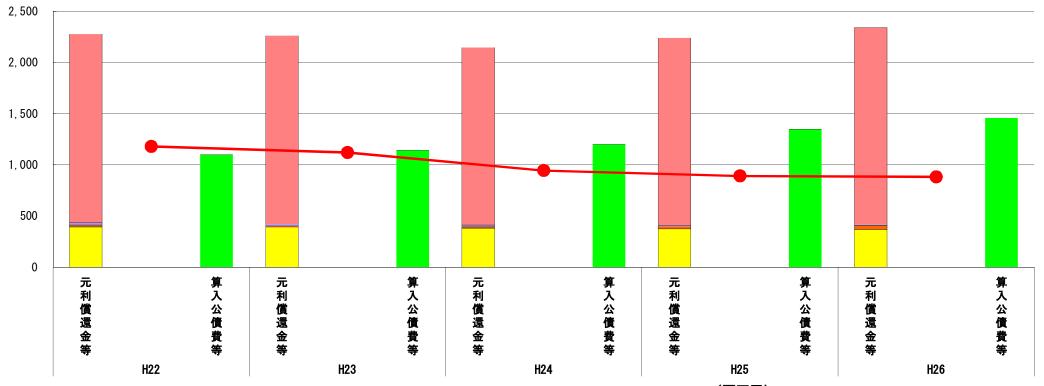
今後も、全ての会計で黒字を維持できるよう努める。

(7) 実質公債費比率 (分子) の構造 (市町村)

平成26年度

千葉県鴨川市

(百万円)



(百万円)

							(73 77
分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
		元利償還金	1, 845	1, 844	1, 735	1, 833	1, 923
		減債基金積立不足算定額	-	-	-	1	_
		満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	1	_
元利償還金等(A)		公営企業債の元利償還金に対する繰入金	22	17	17	8	10
		組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	18	14	14	24	40
		債務負担行為に基づく支出額	395	389	382	376	370
		一時借入金の利子	-	-	-	1	-
算入公債費等(B)		算入公債費等	1, 100	1, 143	1, 202	1, 349	1, 460
(A) — (B)	-	実質公債費比率の分子	1, 180	1, 121	946	892	883

分析欄

実質公債費比率は、減少傾向にあり、この 主な原因として、東日本大震災全国緊急防災 施策等事業等に係る基準財政需要額算入公債 費が増加したことが挙げられる。

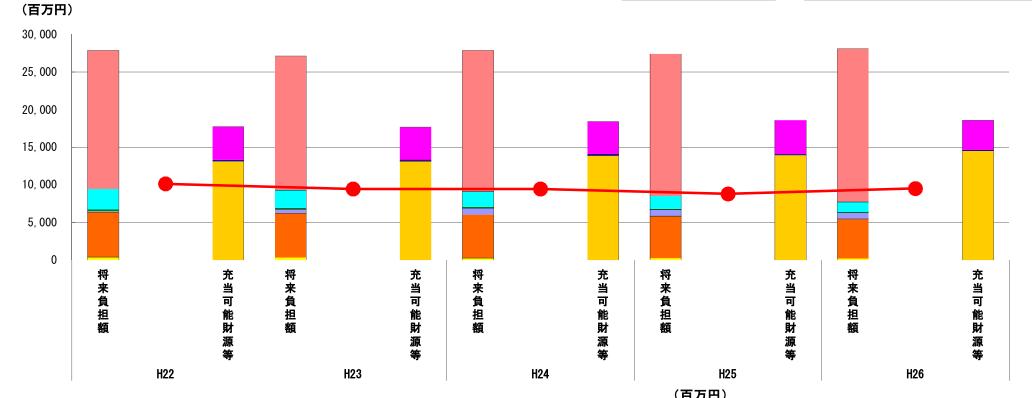
今後も地方債の発行については、より一層、地方交付税措置されるものを優先するなど実質公債費の減少に努めていく。

[※]平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率 (分子) の構造 (市町村)

平成26年度

千葉県鴨川市



							(800)
分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
		一般会計等に係る地方債の現在高	18, 411	17, 804	18, 750	18, 893	20, 372
		債務負担行為に基づく支出予定額	2, 728	2, 387	2, 046	1, 705	1, 364
		公営企業債等繰入見込額	196	177	145	113	92
将来負担額(A)		組合等負担等見込額	155	526	864	835	801
行不負担領(A)		退職手当負担見込額	5, 973	5, 890	5, 749	5, 601	5, 252
		設立法人等の負債額等負担見込額	394	342	296	252	207
		連結実質赤字額	-	-	-	-	_
		組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	_
		充当可能基金	4, 402	4, 390	4, 348	4, 509	3, 923
充当可能財源等(B)		充当可能特定歳入	172	155	139	113	104
		基準財政需要額算入見込額	13, 153	13, 137	13, 912	13, 980	14, 546
(A) — (B)	-	将来負担比率の分子	10, 131	9, 443	9, 452	8, 797	9, 515

分析欄

平成25年度に減となった将来負担比率は、平成26年度において再び増加した。この主な要因として、本庁舎の大規模耐震改修事業に係る地方債発行により、地方債残高が大きく増となったことが挙げられる。

今後も地方債の発行については、より一層、 地方交付税措置されるものを優先するなど、将 来負担比率の減少に努めていく。

[※]平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。